

健康社会研究センター ニューズレター 第6号

2010.10.01 発行

発信元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

名古屋市中区千代田 5 - 22 - 35

日本福祉大学 名古屋キャンパス北館 7 階

Tel:052-242-3074/Fax:052-242-3076

◆ 目次 ◆

- 1 主な研究成果発表
 - 2 新聞記事・マスコミなど
 - 3 学会・シンポジウム等のお知らせ
-

1 主な研究成果発表

- ①Seungwon Jeong, Katsunori Kondo, Nariaki Shiraishi, Yusuke Inoue: An evaluation of the quality of post-stroke rehabilitation in Japan, *Clinical Audit*(20):59-66, 2010, 7
- ②田中剛, 近藤克則: 社会経済格差と健康. *インターナショナルナーシングレビュー*(148): 16 - 22, 2010. 10
- ③筒井秀代, 近藤克則: 健康の社会的要因(5)「慢性腎臓病」. *日本公衆衛生雑誌* 57(8): 649-652, 2010, 8
- ④竹田徳則他: 地域在住高齢者における認知症を伴う要介護認定の心理社会的危険因子-AGES プロジェクト3年間のコホート研究. *日本公衆衛生雑誌*, (印刷中)
- ⑤近藤克則: 講演2 健康格差社会-bio-psycho-social モデルといのち- 第33回日本死の臨床研究会, 名古屋国際会議場, 2009.11. 7-8
死の臨床(8)33: 9-10, 2010. 8
- ⑥近藤克則: シンポジウム3 地域・在宅における緩和ケア, 終末期ケア・マネジメント-質を高める4条件とツール開発の試み-. *死の臨床*(8)33: 21-22, 2010. 8

<講演・学会発表>

- ①Katsunori Kondo: A Half century of healthcare and long-term care in Japan(保健・医療・介護の半世紀), *Innovations on Social Security System: Opportunities and Challenges*, The Sixth international Conference on Social Security, Chengdu, P. R. China, 2010. 9. 11-12
- ②近藤克則: 特別講演2 “見える化”の時代-医療の質そして健康格差, 第36回日本診療情報学会学術大会, 2010. 9. 17, 長野県県民文化会館(ホクト文化ホール)

2 新聞記事・マスコミなど

【指定研究関係】

- ・スタジオパークからこんにちは: ニュース解説「介護予防事業の効果は？」で指定研究(介護予防調査)取組みの紹介, *NHK 総合*, 2010. 9. 9, 13:40-

【その他 AGES 関係】

- ・近藤克則: 看過できぬ日本人の健康格差 希望持てる社会へ転換が必要. *週刊東洋経済*(6284): 91 (40・90でAGESデータ紹介), 10.2 特大号, 2010

【国際シンポジウム記事】

- ・「皆保険50年, 未来図は」, *朝日新聞(朝刊)*, 2010年9月24日

3 学会・シンポジウム等のお知らせ

1) The 7th World Stroke Congress <<<http://www2.kenes.com/stroke/Pages/Home.aspx>>>

- ・S. Jeong, K. Kondo, et. al: THE IMPACTS REGISTERED PHYSICIANS CREATED DURING PARTICIPATING AS REHABILITATION SPECIALISTS IN ACUTE REHABILITATION WARDS.

【日 程】2010年10月15日(金)

【場 所】韓国ソウル市, COEX Center

2) 第14回地域保健全国大会

講演テーマ：「健康格差社会」への処方箋ー地域づくりとヘルスプロモーション

近藤克則（日本福祉大学）

【日 時】 平成22年11月2日（火）

【主 催】 厚生労働省，新潟県，新潟市，(財)日本公衆衛生協会，(財)健康・体力づくり事業財団，
(社)全国保健センター連合会，(社)全国地区衛生組織連合会

【会 場】 朱鷺メッセ・国際会議場スノーホール
(新潟市中央区万代島6番1号)

(以下、先月号より再掲 *一部追加有)

3) 日本病院管理学会第48回学術総会 <<<http://jsha48.umin.jp/>>>

①学術総会企画Ⅲ（特別シンポジウム）

基調講演 well-being（幸福・健康）と社会的共通資本ーイギリスからの示唆

講師 近藤克則（日本福祉大学）

演者 秋山正子（白十字訪問看護ステーション）

安藤眞知子（在宅ケアセンター ひなたぼっこ）

石飛幸三（特別養護老人ホーム 芦花ホーム）

コーディネータ&座長 井部俊子（聖路加看護大学）

【テーマ】「社会的共通資本としての看護の役割と責務」

【日 時】 10月15日（金）16：00 - 18：00

【場 所】 広島国際会議場

②公募企画Ⅰ（学術シンポジウム）

コーディネータ 近藤克則（日本福祉大学）

座長 武藤正樹（国際医療福祉大学）

演者 武藤正樹（国際医療福祉大学）

筒井孝子（国際保健医療科学院）

藤井賢一郎（社会事業大学）

近藤克則（日本福祉大学）

【テーマ】「ケアの質評価」

【日 時】 10月15日（金）9：00 - 11：30

【場 所】 広島国際会議場

③ポスター発表（質管理・質改善）B会場 **[*追加]**

【日 時】 10月15日（金）10：40 - 11：28

鄭丞媛：回復期リハビリテーション病棟における P4P 導入前後の変化ー患者像・訓練量・パフォーマンスの変化ー

4) 日本社会福祉学会第58回秋季大会

<<<http://www.gakkai.ne.jp/jsssw/program/communication.html>>>

①国際学術交流シンポジウム

【総合テーマ】「福祉サービスのデリバリー・システムとソーシャルワーク」

【サブテーマ】 高齢者ケアサービスの運営と評価システムの国際比較研究

【日 時】 10月10日（日）14：00-16：00

【会 場】 日本福祉大学美浜キャンパス

<日本> 「ベンチマークによるケアの質評価システム開発の試み」

近藤克則（日本福祉大学教授）

「日本における高齢者介護サービスのデリバリー・システムとソーシャルワークの役割・機能」

和気純子（首都大学東京教授）

<韓国> 「韓国における公的老人長期療養サービス伝達および評価体系の現況および今後の改善方向」

鮮于惠 Sunwoo Duk (韓国保健社会研究員 研究委員)
「老人長期療養サービス伝達システムとサービス人材管理の課題と発展方案」
石才恩 Suk Jae Eun (翰林大学校 社会福祉学部 副教授)
<台湾>「台湾における高齢者介護サービスの運営と評価システム」
莊秀美(東呉大学ソーシャルワーク学科教授)
趙碧華(東呉大学ソーシャルワーク学科長)
<コーディネーター>：野口 定久(日本福祉大学教授)

<自由研究発表> **[*追加]**

・平松 誠：家族介護とうつ、死亡・要介護状態発生との関連—大規模調査データを用いての再検討—

【日 時】 10月10日(日) 14:50~15:15

【場 所】 日本福祉大学美浜キャンパス 7号館 722 教室

<ポスター発表> **[*追加]**

・鄭丞媛：急性期リハビリテーション医療における MSW が関わる患者の特徴—リハビリテーション患者データバンクのデータを用いて—

【日 時】 10月10日(日) 9:30~12:30

【場 所】 日本福祉大学美浜キャンパス 9号館 910 教室

5) **第 69 回日本公衆衛生学会総会** <<<http://www.secretariat.ne.jp/jsph69/>>>

【テーマ】「公衆衛生の発展に向けて～調査研究から政策へ～」

【日 程】平成 22 年 10 月 27 日(水)～ 29 日(金)

【場 所】東京国際フォーラム

<AGES 関係者報告> (50音順)

- ・近藤克則「高齢者の健診受診と『将来における楽しみ』、所得との関連：AGES プロジェクト」
- ・近藤尚己「相対的貧困ラインの介護予防への示唆：AGES 縦断データ」
- ・鄭 丞媛「パネル調査によるソーシャル・キャピタル変数の信頼性の検討：AGES プロジェクト」
- ・竹田徳則「地域高齢者の『認知症を伴う要介護認定発生割合』の予測点：AGES コホート」
- ・中出美代「在宅高齢者の睡眠の質とその関連要因：AGES プロジェクト」
- ・花岡智恵「Frailty モデルを用いた友人有無と高齢者の死亡・要介護確率：AGES コホート」
- ・平井 寛「一般高齢者施策として実施された地域中事業と健診参加者の身体心理社会的特徴」

<その他報告>

- ・山田 実「24 週間の複数課題下障害物回避トレーニングプログラムは転倒予防に有用である」

<自由集会> **[*追加]**

・田中 剛「地域の力(ソーシャル・キャピタル)と健康—最新の知見と実際の保健医療行政への応用—」

・平井 寛「地域ソーシャル・キャピタルへの介入事例 愛知県武豊町『憩いのサロン』」

(世話人：高尾総司・岡山大学大学院)

ニューズレター第 6 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせはこちら <k-manami@n-fukushi.ac.jp (泉)>までお知らせください。

ニューズレターのバックナンバーはこちら <[バックナンバー](#)>

発信元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

(このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009 年 3 月 14 日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリスト web 登録をいただいた方に配信しています)